

BMC プログラム・海外派遣報告

化学専攻 生物物理化学研究室
博士後期課程 2 年 清原藍

国際学会参加

学会名：ME A Meeting 2008

会 場：Friedrich-List-Halle

会 期：2008年7月7日～11日

所在地：Reutlingen, Germany

2008 年 7 月 7 日～11 日ドイツ、ロイトリンゲンで ME A meeting 2008 が開催され、BMCプログラムのご支援により参加させていただきましたので、その内容について報告いたします。

今年度の発表件数はポスターセッション、ワークショップを含め 147 件と盛会であり、年々規模が拡大すると同時に研究発表の内容においてレベルの高さも増していることが感じられました。

この会議は、ME A（細胞外電位多点計測システム）を用いた多点計測関連の研究者が集い、情報を交換し合って最新の事情を議論する場で、隔年開催されています。ME A システムの有用性は、神経科学・薬学・神経工学・心血管研究と多様であり、産業の研究開発においても効果的なテクノロジーです。

私は The Autonomic Regulation of Spontaneous Activity in Living Neuronal Network というタイトルで報告をしました。研究内容は、分散培養系における神経回路網再編成の培養日数依存的な変化について自発的電気活動を解析したもので、結果としましては、一過性の高頻度バースト活動が出現する時期が存在することと、その後電極間の頻度が二極化することを発表しました。

発表に興味を持って頂いた方々との議論は、これからの内容の発展の方向を指摘していただいたり、私が気付かなかった視点からのアドバイスをいただいたりと得るものが多いディスカッションでした。

世界的な ME A ユーザーと出会い、そのコミュニティに参加することのできた今回の海外派遣は、私にとって大変有意義で、充実した時間を過ごすことができました。

この度、ME A Meeting 2008 への参加につきまして、BMC プログラムにより経済的なご支援を賜り、経験の場を与えていただきましたことを深く感謝いたします。

